



「ひがしWWLフォーラム」を実施しました！

7月9日（木）から7月28日（火）にかけて、Be Creative for Future Global Society（未来のグローバル社会に向けて創造性を）をテーマに、高3国際科15班が課題研究の最終発表を行いました。グローバルな課題解決に向けた研究成果を、論理的にスライドにまとめ、聴衆に分かりやすい英語を用いて発表しました。

平和教育を推進するロールプレイカードやパンフレットの作成、ウェブサイトの立ち上げなど社会で実用化できる研究成果の披露や、JICA・WHO・ユネスコなど国際機関と連携した取り組みが紹介されました。また、長崎大学の先生方や長崎市職員等の専門家の意見、ベトナムでの調査結果、シンガポール国立大学での発表におけるフィードバックなど、例年よりも学術的な研究視点が取り入れられていました。SDGsとの関連性が示されたのも今年の特徴のひとつでした。

参加した先生からの講評

- ・冒頭のスライドに発表の流れが提示されていて、聴衆を意識した発表だった。
- ・例年は最後のスライドに参考文献一覧を掲載するのみのものが多かったが、今年は各スライドの下部に、引用した図表の出典がきちんと明記されていた。
- ・研究内容を劇仕立てで発表したり、難しい専門用語は日本語訳をカードで示すなど、英語での発表を分かりやすくする工夫が見られた。
- ・アンケートやインタビューに加えて、文献調査（先行研究）や他の地域での成功事例がうまく組み込まれた発表が多かった。

生徒の感想

- ・今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、他校からの参加や来客がなく小規模でしたが、研究した成果を仲間と一緒に発表することができ、良い思い出ができました。
- ・ほとんど原稿を見ずに発表できました。2月の発表よりスライドや内容を充実させることができました。
- ・正直ブリックホールのステージでやりたかったです。今後は日本語と英語による研究レポートを完成させて、大学の学びにつなげたいです。



高3普通科の研究論文が完成しました！

高3普通科では、高2から取り組んでいる「地域創生型」探究学習のまとめとして、論文と要約（アブストラクト）を完成させました。県政策企画課等と連携しながら、地域社会が抱える課題解決に向けて、高校生らしい柔軟な解決策を提言しました。離島振興、待機児童、ICT教育、交通安全、人口流出など多岐にわたるテーマが見られました。また、夜景ガイドマップ作成やじゃがいもの地産地消など、長崎の強みをさらに伸ばすための方策も興味深いテーマでした。



